

モリコロパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育

Report

2023年10月21日(土) 9:30~16:30

Day1

夢の世界から題材を見つけ考える

会場 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター内 体験学習室2・3

Day1 プログラム

オリエンテーション

愛・地球博記念館の見学
万博の期間中に活躍していた
ロボット・AIを学ぶ。

愛・地球博記録映像を視聴
来場者対応ロボット、警備ロボ
ット、清掃ロボット等を学ぶ。

愛・地球博記念公園内を散策
ロボット、AIでビジネスにな
りそうな素材を収集。

グループディスカッション
①ビジネスになりそうな素材
②ロボット、AIのメリットとデ
メリット ③ロボット、AIと共
生するためにどうすべきか？

プレゼンテーション
話し合った内容をグループごと
に発表。

講師からの講評



STEP 1

愛・地球博記念館の見学

館内スタッフの説明を受けながら見学してもらった。万博期間中、会場内を自動清掃していた「掃除ロボット」、トランペットを吹くパートナーロボット、ロボットアテンダント「WAKAMARU」、インフォメーション係として働いた「アクトロイド」、現在も動作している「からくり人形」等、**2005年の時点で活躍していたロボットやAIの技術・性能**に触れ、参加者からは感嘆の声が上がっていた。

STEP 2

「愛・地球博」記録映像を視聴

記録映像は、万博開催時に活躍した**ロボットの技術・性能に加え、関わった人々が奮闘した軌跡**も紹介されていた。「アクトロイド」開発を影で支えた人々の努力、夜のパトロールに活躍した「ガードロボi」が昼間は会場案内を兼ねていたこと、自動清掃ロボ「スイッピー」には3つのセンサーが搭載されていた事実などが紐解かれ、参加者は食い入るようにスクリーンを見つめていた。

STEP 3

園内を散策し、ロボット・AIの力でビジネスになりそうな素材を収集

4～5名のグループに分かれて散策。各グループに1名ずつ、愛知県立大学の大学生が同行してサポート。愛・地球博記念館や記録映像で学んだ内容をヒントに、園内をより便利に、より良くするためのアイデア、ビジネスの芽になりそうな素材を模索してもらった。

STEP 4

ビジネス案等を話し合い、まとめた内容をプレゼン

ビジネス案のほか、ロボットやAIを使うことのメリットとデメリット、ロボットやAIと共生していくために今後どうすべきかについて発表してもらった。道を自動舗装してくれるようなロボット、地球の自転や公転を利用した発電、草取りと花を整備してくれる自動ロボット等々、**ユニークなアイデア**が発表された。